

世界人口とインド黒緑「MK B」のお話

JSC 貿易部ニュース インド編

日増しに寒くなってまいりました。

いつも当メルマガをご覧頂きありがとうございます。

さて、日本のメディアでもニュースとして大きく報道されていましてご存じの方も多いかと思いますが、国連の発表によりますと、先月 11/15（火）に世界人口が遂に 80 億人を突破したそうです。

日本では少子化による人口減少が問題になっていますが、インドやアフリカ諸国などでは人口増加が著しく、来年 2023 年にはインドは中国を抜いて人口世界一の国になるとも予想されています。

世界人口 80 億人突破のこのニュース、インドではもちろんトップニュース扱いです。11/15 付けの THE HINDU というインドメディアによると



「世界人口は今日 80 億人に達しました。インドは 2023 年に中国を追い抜くだろうと国連は述べています。11/15 にどこかで生まれた赤ちゃんは世界で 80 億人目です」と、様々な民族衣装を着た世界の人々の絵を使って、ほのぼのとした表現で伝えています。

インドの人口は現在、約 14 億人です。衛生環境や医療技術の向上で乳幼児の死亡率が低下していることも人口増の要因になっています。



写真は、インドの人口が多い事を伝えるニュースなどで、しばしばイメージ写真として用いられる画像ですが、この電車の上に乗る人が更に増えるのですかね(^_^);

ちなみに、国連によると 2022 年現在のアフリカの総人口は 14 億ほどですが、約 30 年後の 2050 年には 24 億人を越えて世界の人口の 4 人に 1 人がアフリカの人々になると予測されており、世界人口も 97 億人になると予想されています。

2050 年、未来の日本には、中国人観光客に加え、アフリカやインドの観光客も多くいらっしゃっているのかもしれないね！

一般的に人口増加は医療技術や衛生環境の向上の証明でもあり、経済活動の増加にもつながり良い面もありますが、反面、環境への負荷や食料不足等の問題も予想されます。

今後も世界が様々な課題を乗り越えつつ 30 年後の世の中が更に良い方向に進んでいる事を希望致します！！

さて、今月の石のお話！

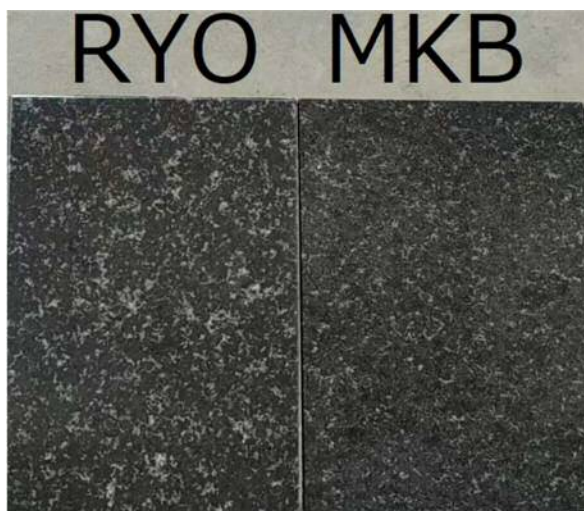
人気のインド産黒緑系のひとつに「RYO (M7)」という石があります。「M10」のように、どの石材店様も取扱いをされているという石種ではないですが、これまで長く使用されてきた人気石種です。

しかし、近年採掘されている「RYO」の原石にはムラが多く、山も再開・停止を繰り返すなど不安定な状態が続いていたため、石材店様からの注文も少なくなってきました。

今日はそんな「RYO」に替わる石をご紹介します。

石の名前は「MKB」。この石の特徴は主に四点ございます！

まず、一つ目は「RYO」に近い高級感のある色目合いです。



新「RYO」という名前と呼んでいる工場もあるようですが、「RYO」に負けないくらいツヤも綺麗ですね！

二つ目は、これだけの“ツヤ”がありながら、本家の「RYO」の価格よりも少しお値打ちである点です。歩留まりも「RYO」より高いようです！

三つ目は、石の安定性です。

インド材の加工が得意なパートナー工場に原石在庫が約 100 m³有ります。量・質ともに安心です。丁場自体も安定して採掘しています。

大材や長尺対応ですが、大きさは5尺角、長さも最長8尺程度まで対応可能で、全国どの地域の墓石にも対応が可能です。



最後、四つ目はインド産の黒緑系の石にしては比較的ムラが少なく綺麗な点です。



同系列の「RYO」「Y1」「M13」「SG2」等は“ムラ”に注意が必要なのに対し、この「MKB」は“ムラ”が少なくきれいです。弊社の検品員も原石を確認していますが、「とてもきれいでした」との報告も上がっています！

この「MKB」、新石種ではないのでご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、まだまだご存じでない方も多いと思いますので、改めてご提案をさせていただきました。

以上の様に、①高級感のある“ツヤ”と“色合い” ②「RYO」よりも少しお安い価格 ③供給の安定性 ④難の少なさ 4つのポイントから、この「MKB」をご推薦いたします！

今月号も最後までご覧頂きありがとうございます。

寒さも厳しさを増しておりますので、くれぐれも体調ご留意の上、どうかよいお年をお迎えくださいませ。

以上

2022/12/01